

新型コロナウイルス（COVID-19）への対応について

野外教育ガイドライン

とちぎYMCA 『ガイドライン』の基本的な方向性

- ①YMCA活動における新型コロナウイルス感染のリスクを最大限に低減させ、
 - ②YMCAがめざすポジティブネットのある社会創造とつながりの持続可能性を目指すため、
 - ③YMCAの運動・活動に参加するすべての人々の命の安全と心身の健康を全力で守ります。
- これらを目的とし、基本的な方向性と定めます。

○体調管理と方針への同意

プログラムへの参加をもって、ガイドラインに対するご理解とご協力への同意をいただいた事とさせていただきます。何卒よろしくお願い致します。

1. 朝の検温と健康チェックの実施。以下の症状がある方は参加を控える。

- 1) 発熱※（平熱より高く、体調不良等を感じる場合についても該当するものとする。）
- 2) 倦怠感
- 3) 呼吸器の症状（息苦しさ）
- 4) 喉の傷み
- 5) せき
- 6) 味覚臭覚がない
- 7) 新型コロナウイルスの症状に当てはまるもの

2. 手洗いとうがいを徹底する。

- 1) 外からYMCAに入館した時
- 2) ご飯やおやつを食べる前
- 3) 怪我や体調を崩した等の救護等を実施した時
- 4) トイレ後

※厚生労働省新型コロナウイルス感染症についてのHP内において、手洗いを流水によるすすぎを15秒、石鹸等でもみ洗い10秒、その後流水で15秒すすぐことによる効果が示されている。手洗いなしでは約100万個の菌が残るが、手洗いを行うことで1/100万に減少すると示されている。（参考文献）森功次他：感染症学雑誌.80：496-500（2006）

※手を洗う石鹸等については手が荒れないものを使用する。皮膚が荒れる、傷が起きることにより粘膜からのリスクが高まる。

感染症対策 新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。時計や指輪は外しておきましょう。

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつき、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクがない時、こつさの時

マスクを着用する（口・鼻を覆う）
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

何もせずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手でおさえる

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan
厚生労働省
■詳しい情報はこちら
厚労省 検索

(参考画像) 厚労省HP

3. 換気の実施について

- 1) 可能な限り窓を常時開け換気をする。(室内プログラム、バスなど)

4. マスクの着用について

- 1) 子どものマスク着用は、年齢によっては徹底が困難である事、夏季においてはかえって熱中症を誘発しかねないので、基本的に活動中は外します。常用させてほしい場合は、別途スタッフまでお申し出ください。
- 2) 子どもでも、バス乗車時はマスク着用を必須とさせていただきます。ご家庭での指導も併せてお願いします。
- 3) 大人（スタッフ・保護者・ボランティアリーダー等すべての方）のマスク着用は必須とします。送迎のような短時間であってもマスク着用の無い方のYMCAの立ち入りは固くお断りします。
- 4) 活動中のスタッフ・ボランティアリーダーについて、主に身体を動かす際は熱中症対策の観点からマスクを外すことがあります。

マスクは、くしゃみや咳をした時の飛沫の距離を短くし、他の人への感染を防ぐ。また、無意識に自分で鼻や口などを触ることを防ぐことで自分自身での感染を防ぐ効果があります。

5. 消毒について

1) 受付時（来館時）の消毒について

消毒後、手洗い、うがいを実施する。

2) 館内、バス及び公用車、備品の消毒について（消毒液による清拭と除菌）

①館内や施設で、子どもたちやリーダー、スタッフが手で触る部分が多いドアノブ、手すりなどを状況に応じて定期的実施する。

②活動で使用する、備品（プログラム用品）は使用后、その都度実施する。

※館内や備品については、「次亜塩素酸ナトリウム水」を使用して消毒する。

・原液、希釈液ともに強アルカリ性で手荒れの恐れがあるため、子どもの手に触れないように管理をします。

・希釈したものは時間が経つと効果が減っていくので、その都度使い切ります。

6. 3つの密を避ける（密閉空間、密集場所、密接場面）

野外教育プログラムでも、活動で3密を作らない環境づくりに取り組む。

1) 密接場面を作らない

2) 密集場면을避ける

3) 密閉空間とならないよう換気

野外教育活動の目的から3つの「密」をすべての場面で避けるのは難しいのであるべく、分散しての活動や※①こまめな除菌を行います。

※① グループのリーダー又はスタッフが、アルコール製剤を携帯して除菌します。

7. その他

【YMCAバス】

1. バス運転手は必ずマスクを着用する。定期的に手指消毒を行う。
2. バスでは可能な限り座席を空けて座らせ、常に窓を開けて換気する。またバス内も定期的に消毒する。（アルコール製剤を使用）
3. 乗車している時間を短くする。

【偏見・差別について】

新型コロナウイルスの流行という、これまでにない状況に直面し、私たちは強い不安を感じています。しかし、新型コロナウイルス感染への不安や恐れによって特定の人や地域、職業などに対して偏見を持つ、嫌悪する、差別をするなどの行為は避けなければなりません。YMCAでは、以下のような差別につながる言動や意思表示をしません。

- ① 特定の人、地域、国籍、職業などに対し「危ない」「悪い」というレッテルをはる
- ② 上記の人などに対し、侮辱する、不快感を与える言動をする
- ③ 上記の人などに対し、犯罪者扱いをする、敵意を向ける
- ④ ウイルスの流行を理由に仲間外れにする
- ⑤ 定かではない情報や噂を広める

【本ガイドラインの有効期限】

コロナ感染症の収束状況を見て別途定めます。対策実施中においても、新たな情報や感染状況に応じて改訂することもあります。

2020年5月25日 初版

- 2020年6月10日 改訂
- ① 「次亜塩素水（電解）」に関する同日付けN I T E
（（独）製品評価技術基盤機構）のファクトシート見解に基づき、記述を削除
 - ② 熱中症対策に伴い、スタッフ及びボランティアリーダーのマスク使用について改訂